

釜石発

「埋蔵文化財」展示会



復興工事で発掘された土器などの出土品展示会が釜石市郷土資料館で開かれています。展示品は縄文時代から鎌倉時代にかけての出土品

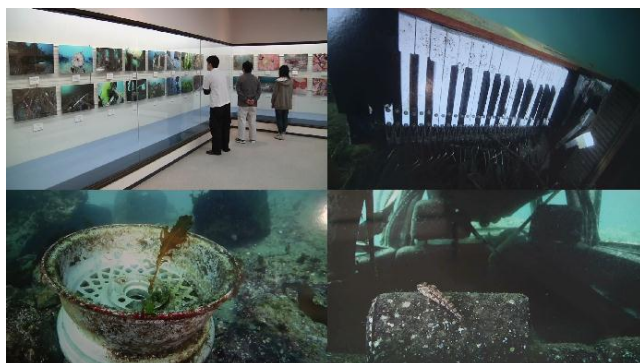
およそ200点です。復興工事に際して、貴重な文化財や遺跡などが埋もれている可能性の高い場所では調査が行われることになっており、出土品は、釜石市内の道路や住宅地の復興工事の調査で発掘されたものです。中にはこれまで県内でも数カ所しか見つかっていない縄文時代中期の大規模住居の跡から発掘された土器など、新たな歴史を物語る貴重なものが含まれています。埋蔵文化財の展示は3月22日まで行われています。(2/5 ニュース)



宮古発

「三陸の海」写真展

震災後の三陸の海の移り変わりを水中から捉えた写真展が、宮古市の県立水産科学館で開かれています。兵庫県出身の水中写真家・鍵井靖章さんが岩手の海を継続的に潜水撮影したものです。2011年4月から2年にわたって海の中の移り変わりを撮影した43点の写真は、特に小さな生き物にスポットを当てています。津波によって流されたピアノや自動車。ガレキだらけの海でも小さな魚や海藻が絶滅することはなく、たくましく暮らしている様子は生命力の強さを感じさせます。写真展は3月22日まで開かれています。(2/6 ニュースエコー)



釜石発

「追悼施設」移転

津波で逃げ込んだ多くの方が犠牲となった釜石市の鶴住居地区防災センターの追悼施設が、土地のかさ上げ工事のため移転することになりました。追悼施設は、おとしし8月に設置されましたが、周辺の土地と同様に追悼施設の場所もかさ上げ工事の対象となっていることから、500メートルほど北にある「常楽寺」の境内に移転することになりました。(2/9 ニュースエコー)



追悼施設は、おとしし8月に設置されましたが、周辺の土地と同様に追悼施設の場所もかさ上げ工事の対象となっていることから、500メートルほど北にある「常楽寺」の境内に移転することになりました。(2/9 ニュースエコー)

釜石発

カップ麺で全国発売



細いちぢれ麺と琥珀色で透き通った醤油味のスープが特長の「釜石ラーメン」がカップ麺として全国発売されます。釜石ラーメンは釜石市の

新華園本店の先代が考案し、今では釜石を代表する味として知られています。東日本大震災で店は被災しましたが、7か月後には再開しました。商品化した明星食品は被災地支援商品を毎年開発していて「釜石ラーメン」も売り上げの一部が釜石市の「ふるさと寄付金」に寄付されます。3月23日から全国のスーパーやコンビニで販売されます。(2/10 ニュースエコー)

宮古発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週は陸前高田災害FMの阿部裕美さんが、陸前高田市横田町に開所した『飛鳥のアトリエ』について、飛鳥さんの父親・田崎実さんにお話を伺いながら伝えてくれました。知的障害を持ちながらも、大胆なタッチと鮮やかな色彩で観る人の心に響く絵を描く田崎飛鳥さんのために、多くの方の支援を得て開所したものです。作品のテーマは「祈り」。震災で犠牲になった方々が天国で安らかに眠って欲しいとの思いが込められています。阿部さんは「素晴らしい作品なので、ぜひたくさんの方に観て頂きたい」と話していました。(2/11)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122